



日本の四季を感じていた~い!



お花畑・四季の落葉樹林

高いところで遊びた~い!

見通しがきかないと言われるほどあった木をしょうずに生かして、造ったんだって。お花見も、前と同じように楽しめるよ。



つり橋・ツリーハウス

この公園は、大人じゃ考えつかないような、子どものアイデアを形にした、品川区で初めての公園なんだって!

今日、新しくなった
四月×日
鮫洲運動公園に行った。

鮫洲、って遠いっ...
なんてことはないよ。

大井第二地区を
飛び出して

おNEWSな

鮫洲運動公園を訪ねてみたよ!

紹介文の
☺☺☺
を見てね!

当時は30人。詳しくは第91号をおさらいしてね。

お山・ワイドスライダー



山の斜面をすべり下りたい!

もうひとつのすべり台は、芝生のお山にあるよ。丸太のステップがついているけれどどこから登ったっていいんだ! お山なんだから!

好きな方向にすべることが出来るすべり台は、話し合った子どもみんなが熱望! どこから登るかも自由。すべり台につきものはしごがないから。ウレタン樹脂の感触もいいんだなあ。



全方向すべり台

どこへでも、すべっていけたら!

光る屋根が迎えてくれたら!

ピカピカ光る屋根のアイデアを、カラフルなアクリル板で実現! その上、地面にその色が映るんだ。お陽さまと一緒に動くよ。

光るパーゴラ

公園づくりが集まったメンバーで、他区の公園を視察に行ったとか。そこにあっただのが、これ! 黒土が30センチも盛ってあるんだって。たっぷり掘れるよ。



スコップで掘ることが出来る地面

公園でトランポリン!

みんな大好きトランポリンが、公園にあったっていいじゃない。ぼよん、ぼよんと飛び跳ねられるよ。



ゴムの飛石

チョークで地面に絵を描くスペース



道路に夢中になっで描いた覚えが、大人にだってあるよね。「こんなところに描いちゃダメ!」っておこられた思い出も好きだけ描いていいよ。チョークももちろん置いてあるよ。

消さなくてもいいって言うて!

地面が色いろに光るといいな!

道路に面した2つの出入り口には、通路の両側にLEDが埋め込まれている。このLEDも子どものアイデアなんだって。ビー玉が、お陽さまの力を借りて、光っている園路もあるよ。

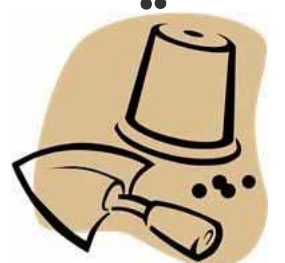


光る地面

【取材協力】品川区公園整備係 小川 晋さん

鮫洲特集は裏面にも続くよ。

【檜山・山本】



イラスト

クラランブル

◇第7回◇

『私のお気に入りの場所』に投稿してくれた《なっちゃん》の作品を紹介합니다。

自然の中で活動できる場として広く親しまれてきた様子がよくわかるよね。

《なっちゃん》ありがとう！

あなたもこのコーナーに参加してみない？

お題は、例えば『学校生活』・『マイブーム』など…A4版の紙に横書きで、一言コメント・名前・学年を記入して応募してね♪

【鈴木】

ご応募、お問い合わせは、大井第二地域センター(3772)2000 まで



しながわ区民公園 四季を感じられて色々な遊びができるオススメの場所。《なっちゃん》

発見! まちのグルメ

和菓子屋さん

中通り・現ダンススタジオの向かい側に、かつて和菓子・おにぎりのお店があったのをご存知ですか？ 同じ名前のお店が鮫洲にあるので、今回はちょっと足を延ばしてみました♪

京急鮫洲駅から徒歩5分ほどの旧道に、古くからある素朴なお店。大井にあったお店との関係を聞いてみると、蓮沼の本店で若いころ一緒に修行してのれん分けをした職人たちの店が、以前は大井はじめ小平などにもたくさんあったそうです。だから鮫洲にあるのに屋号には本店所在地の「蒲田」がついているのですね。

こちらのお店の和菓子は、飾らない店主さんの人柄どおり、かしまった感じがなく、お腹いっぱい食べられるおやつといった感じ。桜の頃には手土産に桜餅、きな粉や

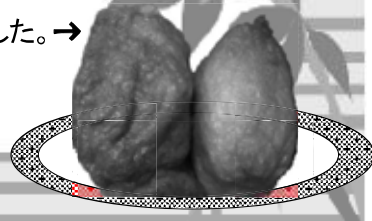


←定番あんこのおはぎ、大きなおにぎりも人気です。

取材の最中に娘が「おいしそうだなー」と食い入るように見ていると、「おねえちゃんもってきな」とボリューム満点のお稲荷さんを分けてくれました。→

ほどよい甘みがおいしかった！
夕方は午後6時まで営業。

【世良】



プシイバック!! スクラランブル

昭和63年に創刊号が発刊されてから、今年でナンと23年目!!
当時取り上げた情報は今、変わっている? 変わっていない?!



「シイの木どこいった?」をご紹介します。

今回は平成17年3月発行の第67号で紹介された

伊藤中学校の校庭にそびえ立つシイの木。卒業生はもちろん、伊藤中に行った人なら誰も見たことがあるでしょう。その「伊藤中のシンボル」とも言えるシイの木が校庭から姿を消した、というので取材に行ってみました。

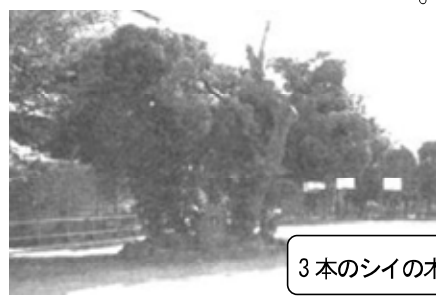
元々校庭には三本のシイの木がありました。そして、仮校舎建築に伴ってシイの木の移植計画が立ち上がりました。そこで、昨年九月に行った「木の診断」の結果、初代シイの木は中が空洞になっており移植は難しいが、他の二本は移植が可能、ということでした。

しかし昨年十月上旬、台風により初代シイの木が倒れてしまったのです。しかもその際、三代目シイの木の方に倒れてしまったため、三代目シイの木も倒れてしまいました。



移植したシイの木

このような経緯があり、二代目だけ校庭の隅に移植したのです。初代、三代目シイの木の切り株なども、もう処分されていきました。これからは、一本のシイの木が「伊藤中のシンボル」として見守ってくれるでしょう。



3本のシイの木

「シイの木・やらんぶ、どいつだった?」



小中一貫校の伊藤学園として、平成19年4月開校するにあたり、大規模工事が実施されました。開校から5年シイの木は今どこにあるのでしょうか?

当時を知る方にお聞きしたところ、「東門近くに移植したのが、枯れたらしい、その後どうなったかまでは判らない。」「3本とも切ってしまったかと思っていた?」と、はっきりした情報は不明です。

「ご存知の方いらっしゃいますか?」いらっしゃいましたら、ぜひ、スクランブルまで教えてください!!

【石川裕】